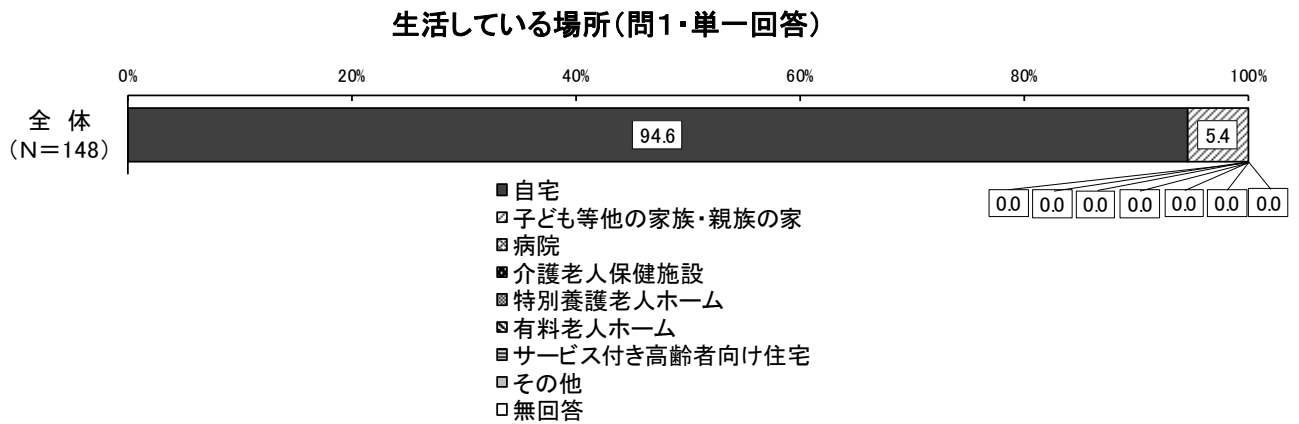


## 8 在宅医療と介護に関する調査

### (1) 基本属性

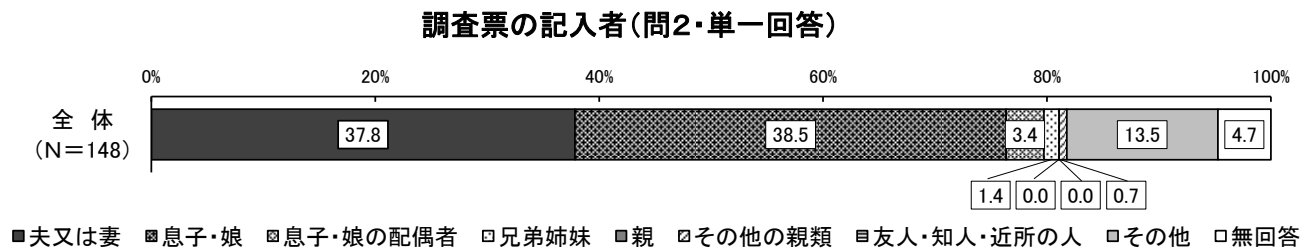
#### ①生活している場所（問1・単一回答）

生活している場所は「自宅」が 94.6%、「子ども等他の家族・親族の家」が 5.4%となっている。



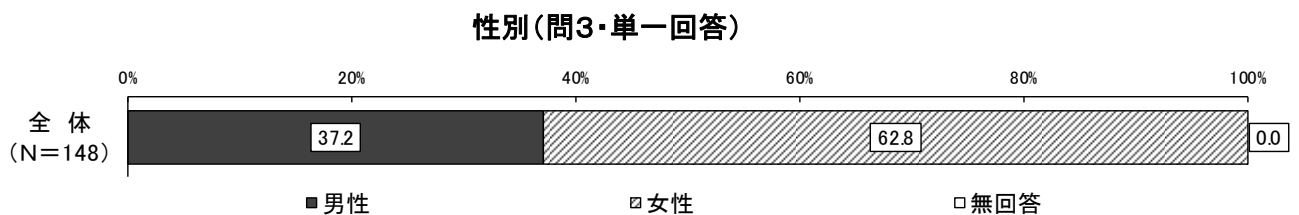
#### ②調査票の記入者（問2・単一回答）

調査票の記入者は「息子・娘」(38.5%)が最も多く、「夫又は妻」(37.8%)、「息子・娘の配偶者」(3.4%)と続いている。



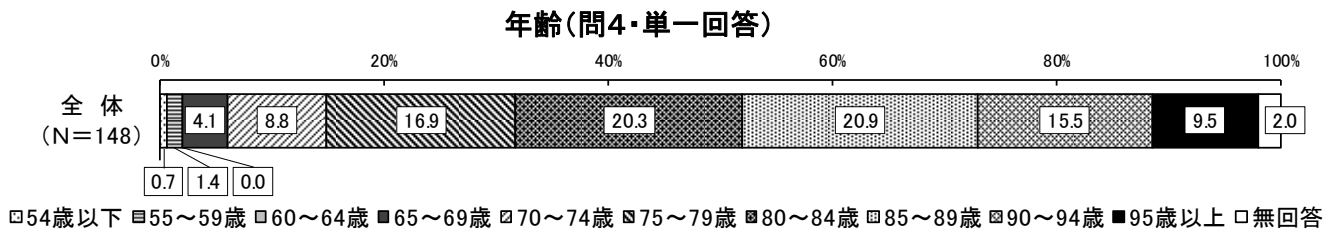
#### ③性別（問3・単一回答）

性別は、「男性」が 37.2%、「女性」が 62.8%となっている。



④年齢（問4・単一回答）

年齢は、「85～89歳」（20.9%）が最も多く、「80～84歳」（20.3%）、「75～79歳」（16.9%）、「90～94歳」（15.5%）、「95歳以上」（9.5%）と続いている。



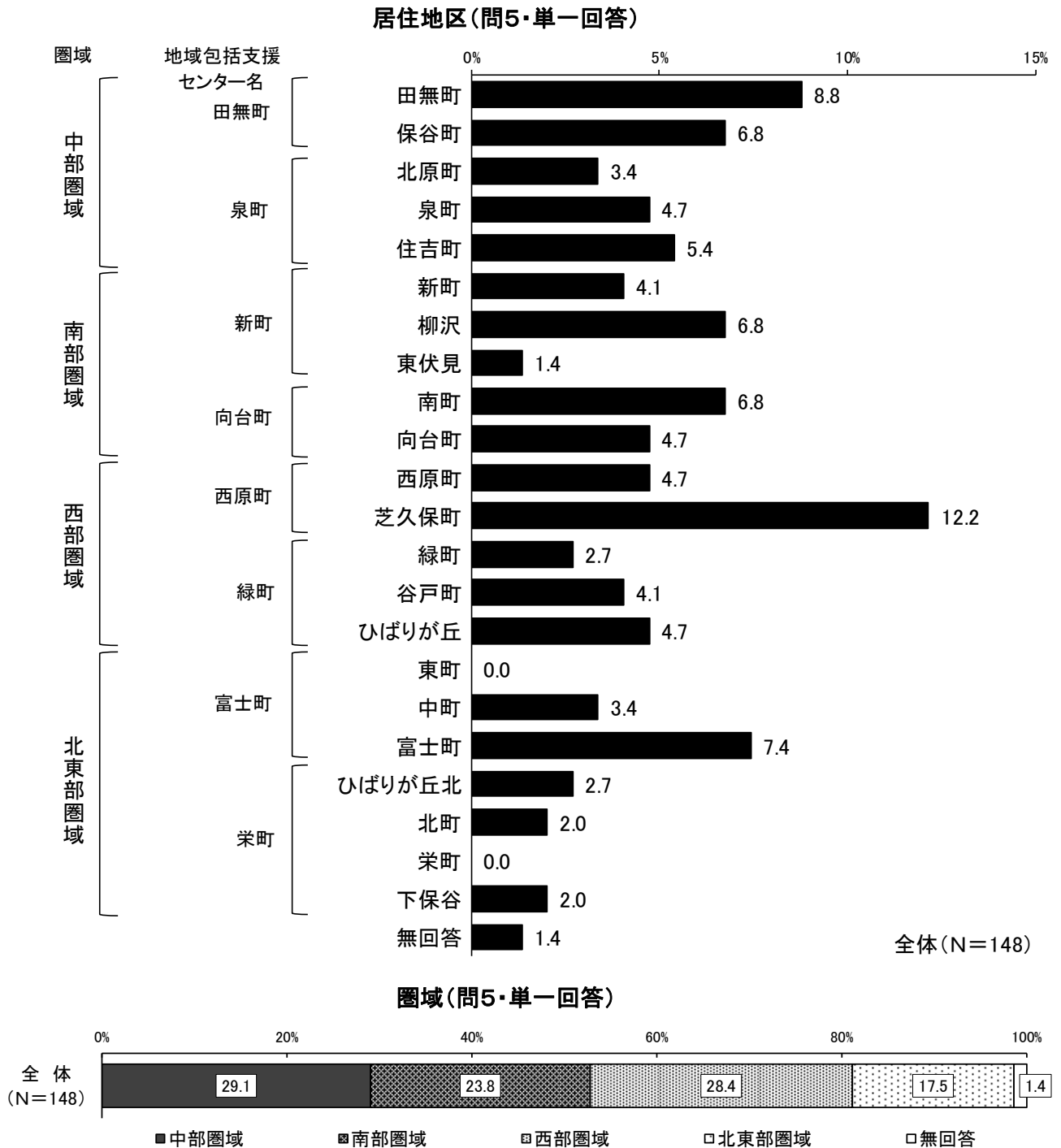
第2章 各調査の結果

8 在宅医療と介護に関する調査

⑤居住地区（問5・単一回答）

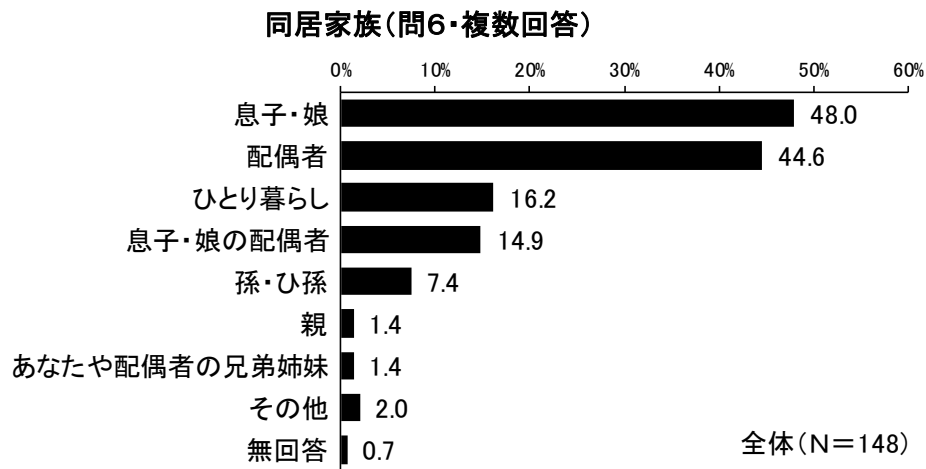
居住地区は、「芝久保町」（12.2%）が最も多く、「田無町」（8.8%）、「富士町」（7.4%）、「保谷町」及び「柳沢」、「南町」（いずれも6.8%）と続いている。

圏域で見ると、「中部圏域」（29.1%）が最も多く、「西部圏域」（28.4%）、「南部圏域」（23.8%）、「北東部圏域」（17.5%）と続いている。



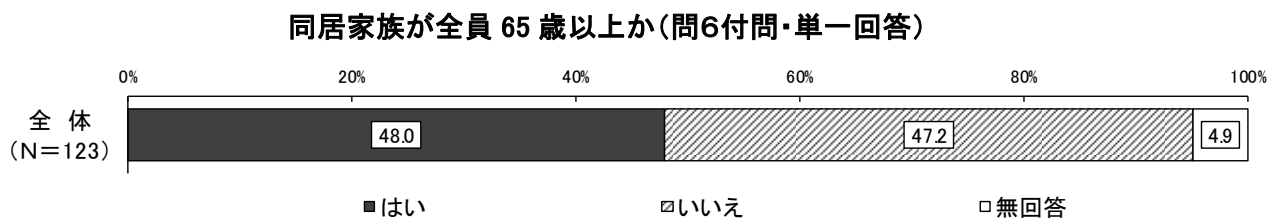
⑥同居家族（問6・複数回答）

同居家族は、「息子・娘」（48.0%）が最も多く、「配偶者」（44.6%）、「ひとり暮らし」（16.2%）、「息子・娘の配偶者」（14.9%）と続いている。



⑦同居家族が全員 65 歳以上か（問6付問・単一回答）

同居家族のいる人（問6で「ひとり暮らし」と回答しなかった人）の同居者が全員 65 歳以上であるかは、「はい」が 48.0%、「いいえ」が 47.2%となっている。

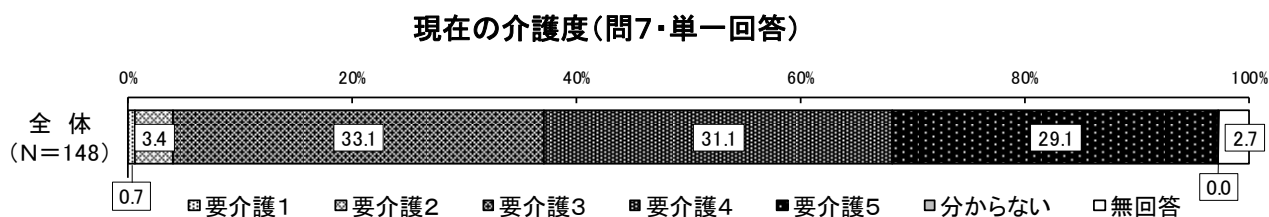


## 第2章 各調査の結果

### 8 在宅医療と介護に関する調査

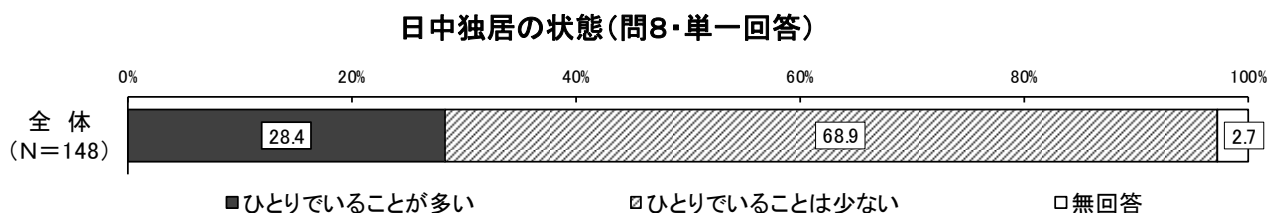
#### ⑧現在の介護度（問7・単一回答）

現在の介護度は、「要介護3」（33.1%）が最も多く、「要介護4」（31.1%）、「要介護5」（29.1%）、「要介護2」（3.4%）と続いている。



#### ⑨日中独居の状態（問8・単一回答）

平日の日中ひとりでいることが多いかは、「ひとりでいることが多い」が28.4%、「ひとりでいることは少ない」が68.9%となっている。



## (2) 医療の状況

### ① かかりつけ医の有無 (問9・単一回答)

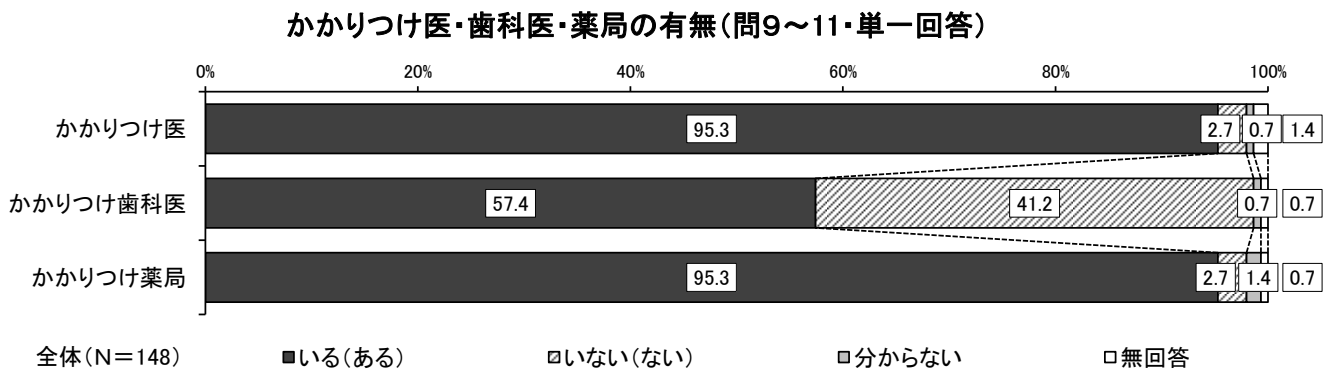
かかりつけ医の有無は、「いる」が95.3%、「いない」が2.7%となっている。

### ② かかりつけ歯科医の有無 (問10・単一回答)

かかりつけ歯科医の有無は、「いる」が57.4%、「いない」が41.2%となっている。

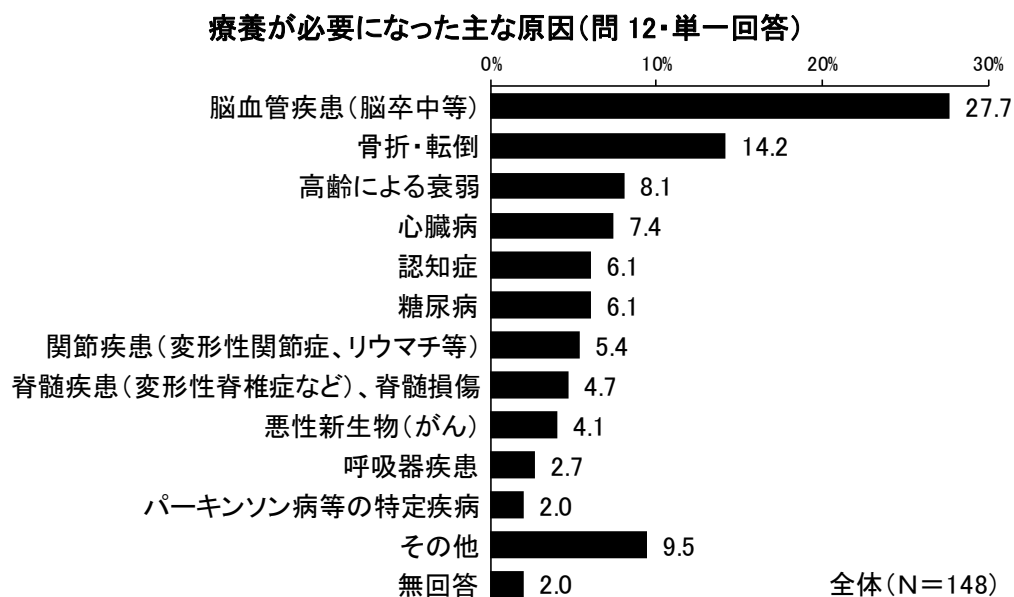
### ③ かかりつけ薬局の有無 (問11・単一回答)

かかりつけ薬局の有無は、「ある」が95.3%、「ない」が2.7%となっている。



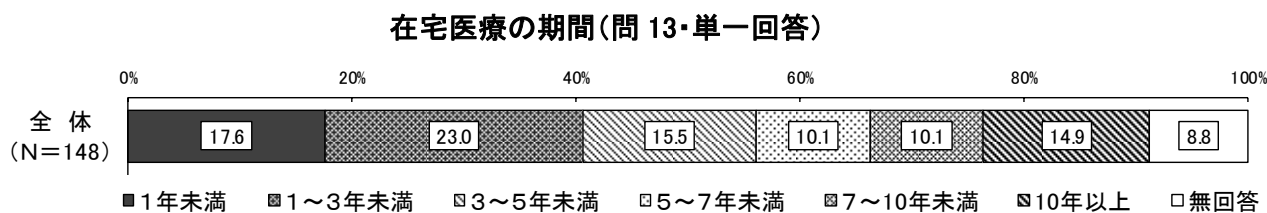
### ④ 療養が必要になった主な原因 (問12・単一回答)

療養が必要になった主な原因は、「脳血管疾患(脳卒中等)」(27.7%)が最も多く、「骨折・転倒」(14.2%)、「高齢による衰弱」(8.1%)、「心臓病」(7.4%)と続いている。



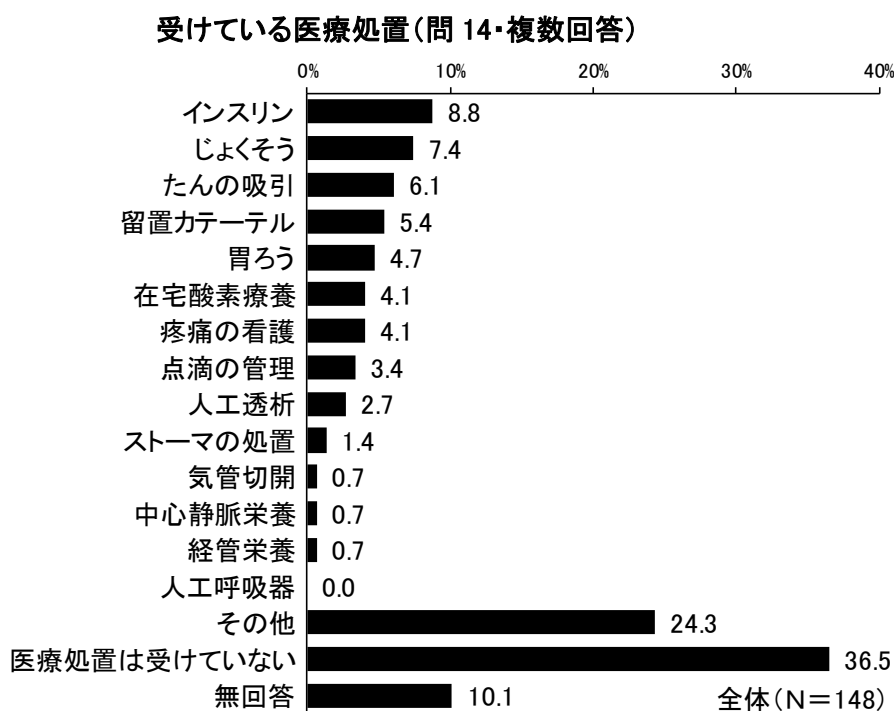
⑤在宅医療の期間（問13・単一回答）

在宅医療の期間は、「1～3年未満」（23.0%）が最も多く、「1年未満」（17.6%）、  
「3～5年未満」（15.5%）、「10年以上」（14.9%）と続いている。



⑥受けている医療処置（問14・複数回答）

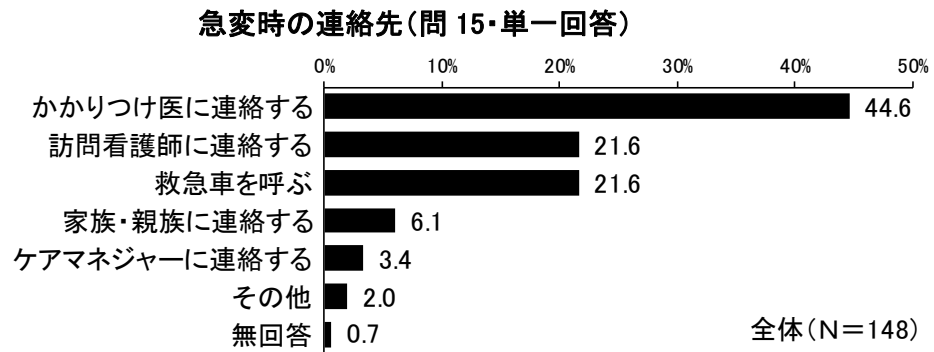
受けている医療処置は、「インスリン」（8.8%）が最も多く、「じょくそう」（7.4%）、  
「たんの吸引」（6.1%）、「留置カテーテル」（5.4%）と続いている。



[その他の記述] 投薬、麻痺のリハビリ、浣腸、摘便、体調管理、など

⑦急変時の連絡先（問15・単一回答）

急変時の連絡先は、「かかりつけ医に連絡する」（44.6%）が最も多く、「訪問看護師に連絡する」及び「救急車を呼ぶ」（ともに21.6%）と続いている。

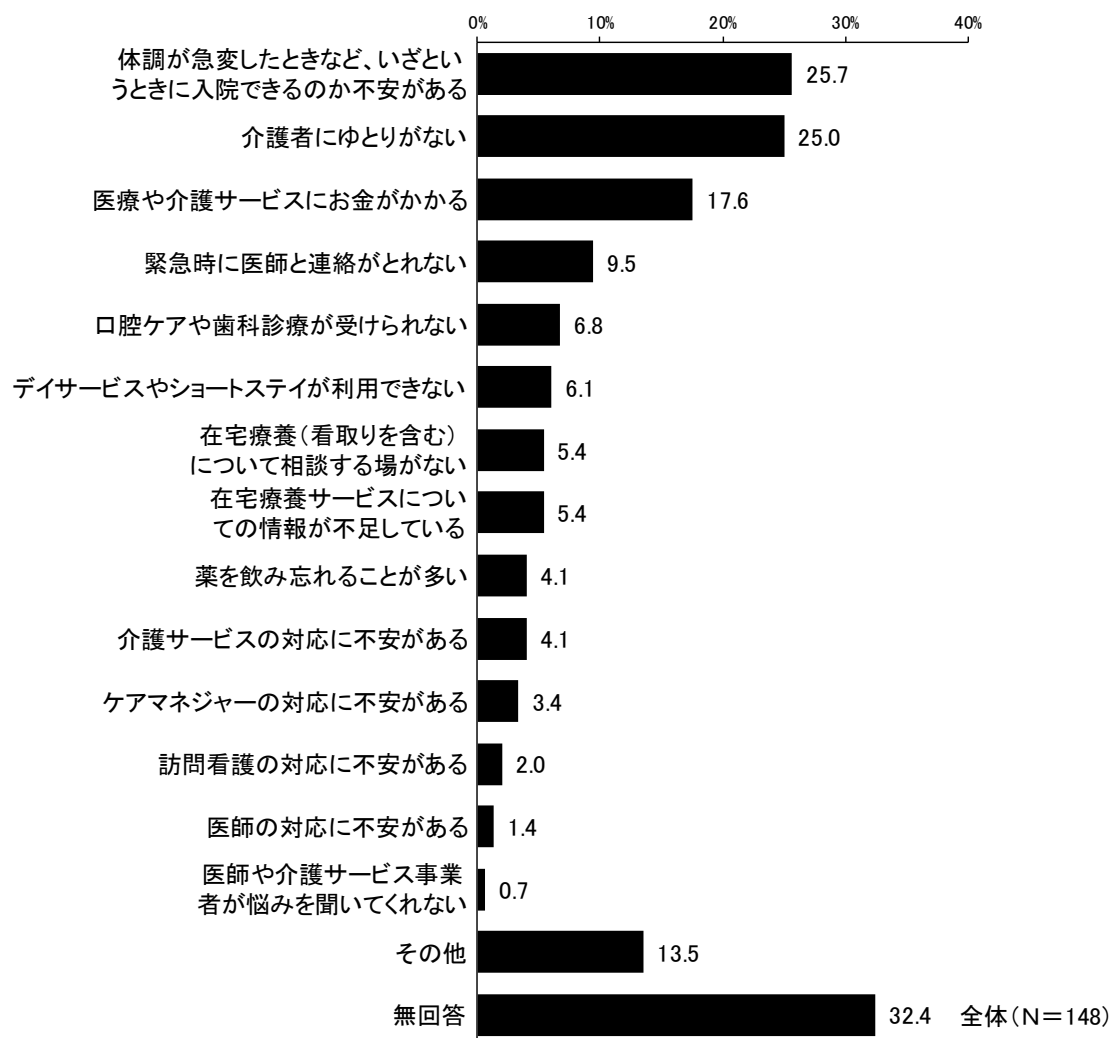




⑧在宅療養を送る上で困っていること（問16・複数回答）

在宅療養を送る上で困っていることは、「体調が急変したときなど、いざというときに入院できるのか不安がある」（25.7%）が最も多く、「介護者にゆとりがない」（25.0%）、「医療や介護サービスにお金がかかる」（17.6%）と続いている。

在宅療養を送る上で困っていること(問16・複数回答)

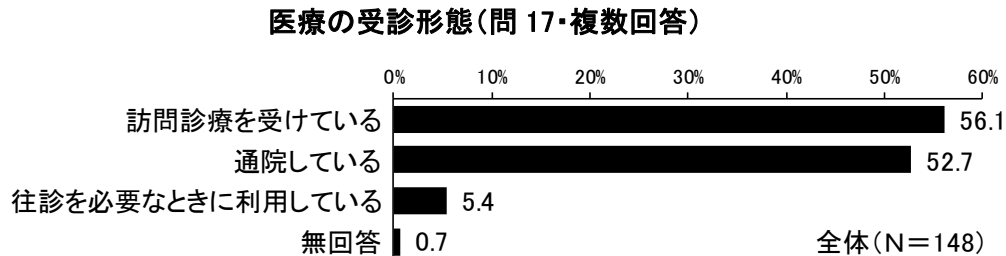


〔その他の記述〕 介護者が体調を崩したときのフォロー、災害時の停電でたんの吸引ができなくなる、自宅で療養が困難になったときに受け入れてくれる特養がない、など

⑨医療の受診形態（問 17・複数回答）

医療の受診形態は、「訪問診療を受けている」（56.1%）が最も多く、「通院している」（52.7%）、「往診を必要なときに利用している」（5.4%）と続いている。

要介護度別では、介護度の高い要介護4や要介護5で訪問診療を受ける人が多い傾向にある。



**【要介護度別】医療の受診形態(問 17・複数回答)**

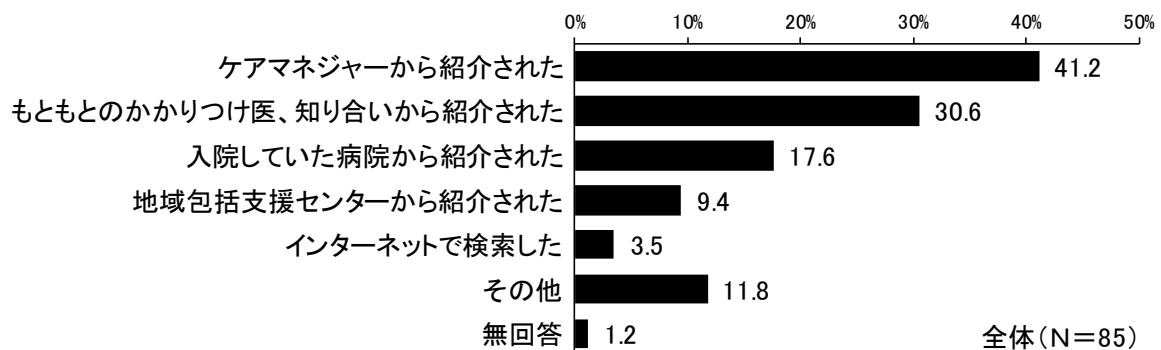
(%)

	訪問診療を受けている	往診を必要なときに利用している	通院している	無回答
全体 (N=148)	56.1	5.4	52.7	0.7
要介護1 (N=1)	100.0	0.0	0.0	0.0
要介護2 (N=5)	40.0	0.0	60.0	0.0
要介護3 (N=49)	42.9	2.0	69.4	0.0
要介護4 (N=46)	54.3	15.2	52.2	0.0
要介護5 (N=43)	69.8	0.0	37.2	2.3
無回答 (N=4)	100.0	0.0	25.0	0.0

⑩訪問診療の医療機関の見つけ方（問 18・複数回答）

訪問診療や往診などを受けている人（問 17 で「訪問診療を受けている」「往診を必要なときに利用している」と回答した人）の訪問診療の医療機関の見つけ方は、「ケアマネジャーから紹介された」（41.2%）が最も多く、「もともとのかかりつけ医、知り合いから紹介された」（30.6%）、「入院していた病院から紹介された」（17.6%）と続いている。

**訪問診療の医療機関の見つけ方(問 18・複数回答)**



【その他の記述】 訪問看護師からの紹介、後方支援病床の利用で知った、など

第2章 各調査の結果

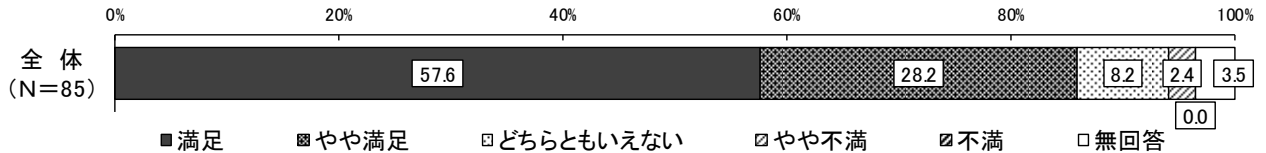
8 在宅医療と介護に関する調査

⑪ 在宅医療への満足度（問 19・単一回答）

訪問診療や往診などを受けている人（問 17 で「訪問診療を受けている」「往診を必要などに利用している」と回答した人）の在宅医療への満足度は、「満足」（57.6%）と「やや満足」（28.2%）を合計した『満足』が 85.8%、「やや不満」（2.4%）と「不満」（0.0%）を合計した『不満』が 2.4%、「どちらともいえない」が 8.2%となっている。

圏域別では、西部圏域で「満足」（73.9%）が多い一方、南部圏域では「どちらともいえない」（15.8%）や「やや不満」（5.3%）もみられる。

在宅医療への満足度(問 19・単一回答)



【圏域別】在宅医療への満足度(問 19・単一回答)

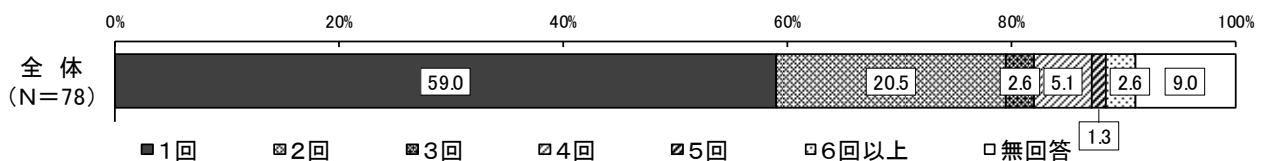
(%)

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
全体 (N=85)	57.6	28.2	8.2	2.4	0.0	3.5
中部圏域 (N=25)	60.0	32.0	8.0	0.0	0.0	0.0
南部圏域 (N=19)	42.1	31.6	15.8	5.3	0.0	5.3
西部圏域 (N=23)	73.9	21.7	4.3	0.0	0.0	0.0
北東部圏域 (N=16)	56.3	31.3	0.0	0.0	0.0	12.5
無回答 (N=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

⑫ 1か月あたりの通院回数（問 20・単一回答）

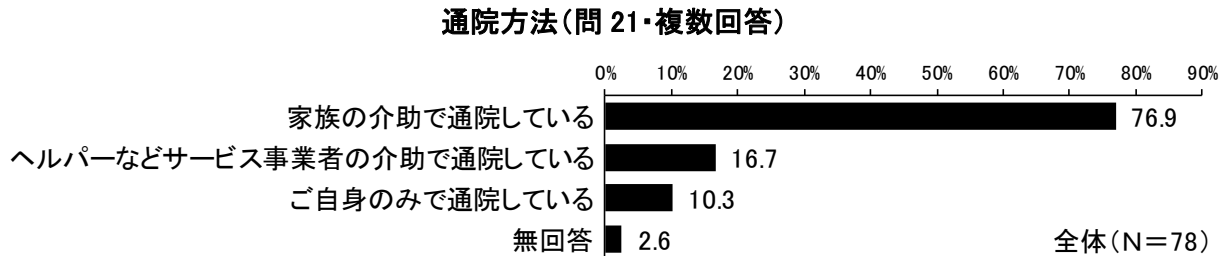
通院している人（問 17 で「通院している」と回答した人）の1か月あたりの通院回数は、「1回」（59.0%）が最も多く、「2回」（20.5%）、「4回」（5.1%）と続いている。

1か月あたりの通院回数(問 20・単一回答)



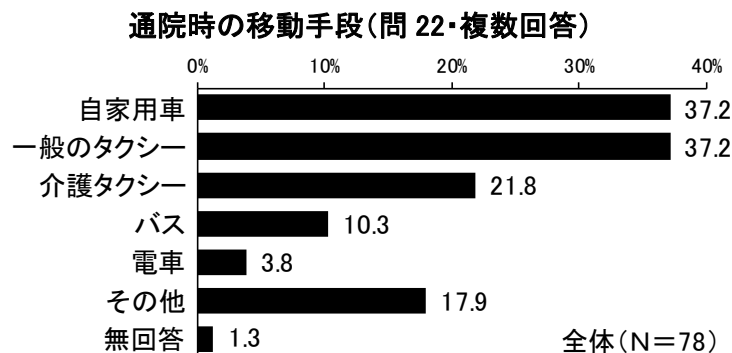
⑬通院方法（問 21・複数回答）

通院している人（問 17 で「通院している」と回答した人）の通院方法は、「家族の介助で通院している」（76.9%）が最も多く、「ヘルパーなどサービス事業者の介助で通院している」（16.7%）、「ご自身のみで通院している」（10.3%）と続いている。



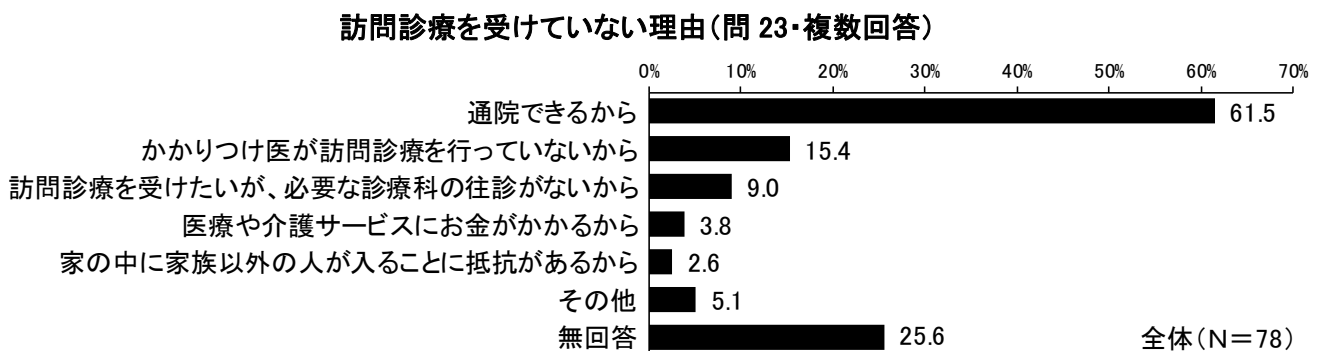
⑭通院時の移動手段（問 22・複数回答）

通院している人（問 17 で「通院している」と回答した人）の通院時の移動手段は、「自家用車」及び「一般のタクシー」（ともに 37.2%）が最も多く、「介護タクシー」（21.8%）、「バス」（10.3%）と続いている。



⑮訪問診療を受けていない理由（問 23・複数回答）

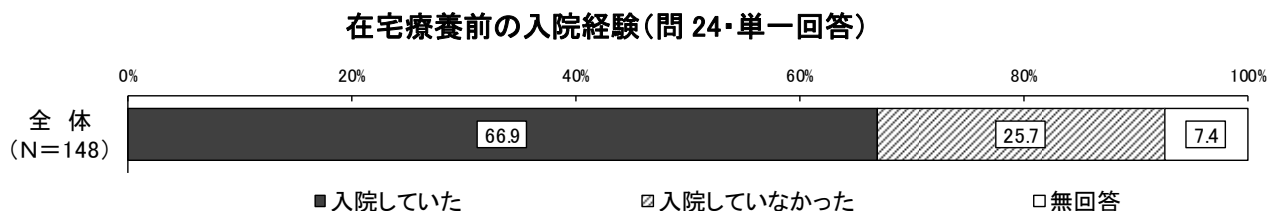
通院している人（問 17 で「通院している」と回答した人）の訪問診療を受けていない理由は、「通院できるから」（61.5%）が最も多く、「かかりつけ医が訪問診療を行っていないから」（15.4%）、「訪問診療を受けたいが、必要な診療科の往診がないから」（9.0%）と続いている。



### (3) 退院時のことについて

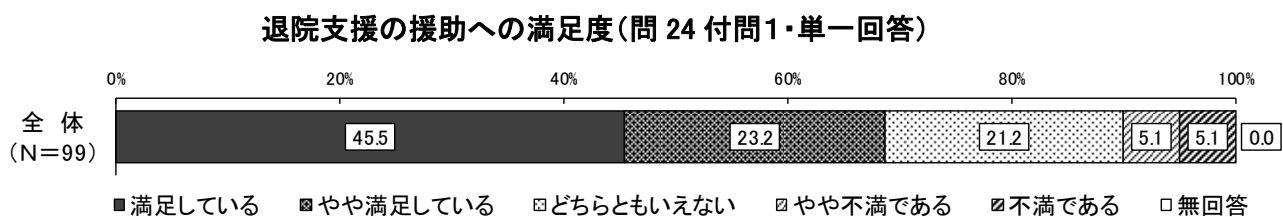
#### ①在宅療養前の入院経験（問24・単一回答）

在宅療養前の入院経験は、「入院していた」が66.9%、「入院していなかった」が25.7%となっている。



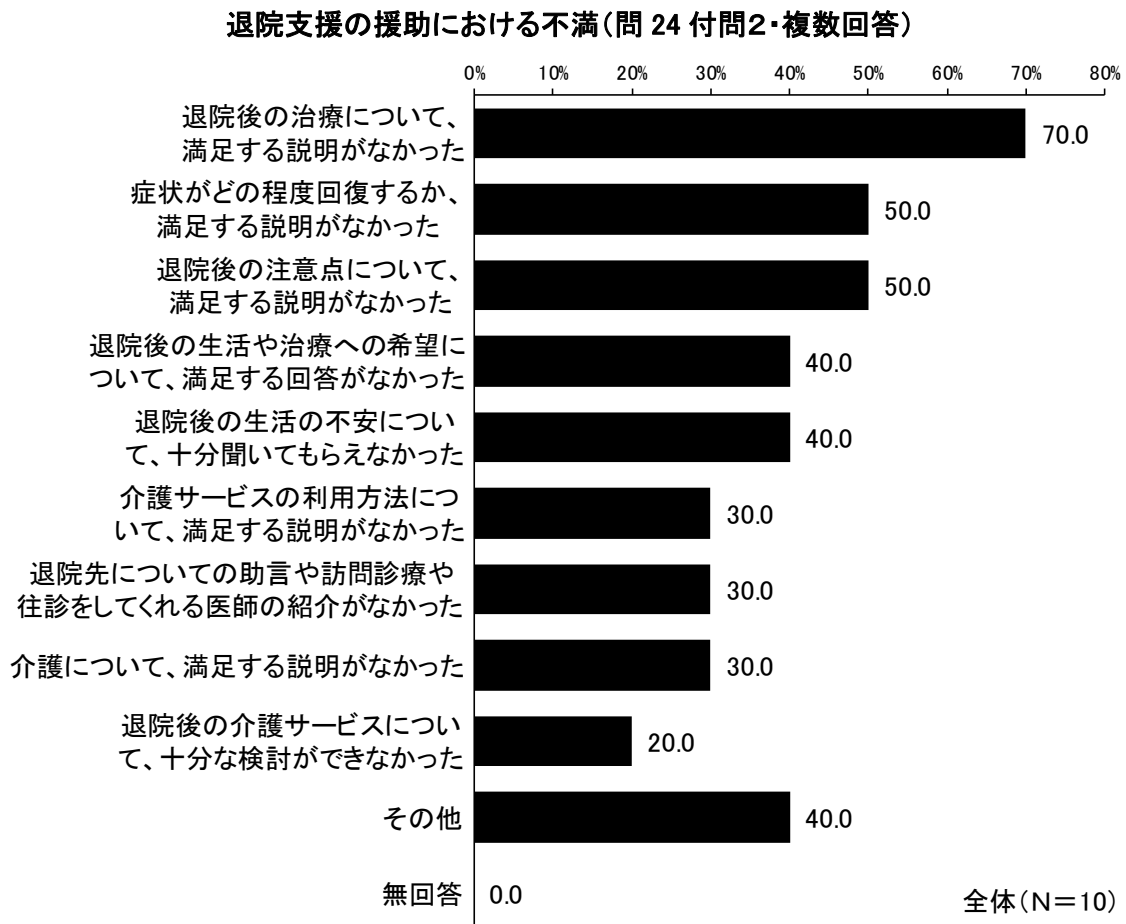
#### ②退院支援の援助への満足度（問24付問1・単一回答）

入院経験があった人（問24で「入院していた」と回答した人）の退院支援の援助への満足度は、「満足している」（45.5%）と「やや満足している」（23.2%）を合計した『満足』が68.7%、「やや不満である」（5.1%）と「不満である」（5.1%）を合計した『不満』が10.2%、「どちらともいえない」が21.2%となっている。



③退院支援の援助における不満（問 24 付問 2 ・複数回答）

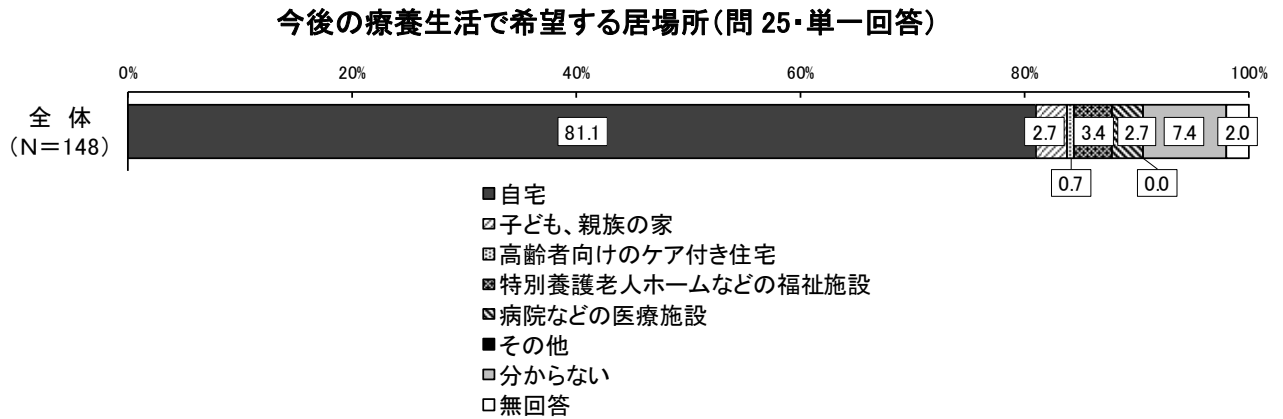
退院支援の援助に不満があった人（問 24 付問 1 で「やや不満である」「不満である」と回答した人）の不満の内容は、「退院後の治療について、満足する説明がなかった」（70.0%）が最も多く、「症状がどの程度回復するか、満足する説明がなかった」及び「退院後の注意点について、満足する説明がなかった」（ともに 50.0%）と続いている。



(4) 今後の希望

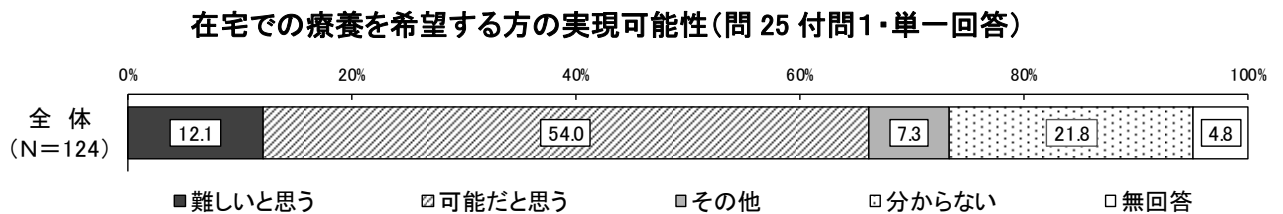
①今後の療養生活で希望する居場所（問 25・単一回答）

今後の療養生活で希望する居場所は、「自宅」（81.1%）が最も多く、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」（3.4%）、「子ども、親族の家」及び「病院などの医療施設」（ともに2.7%）と続いている。



②在宅での療養を希望する方の実現可能性（問 25 付問 1・単一回答）

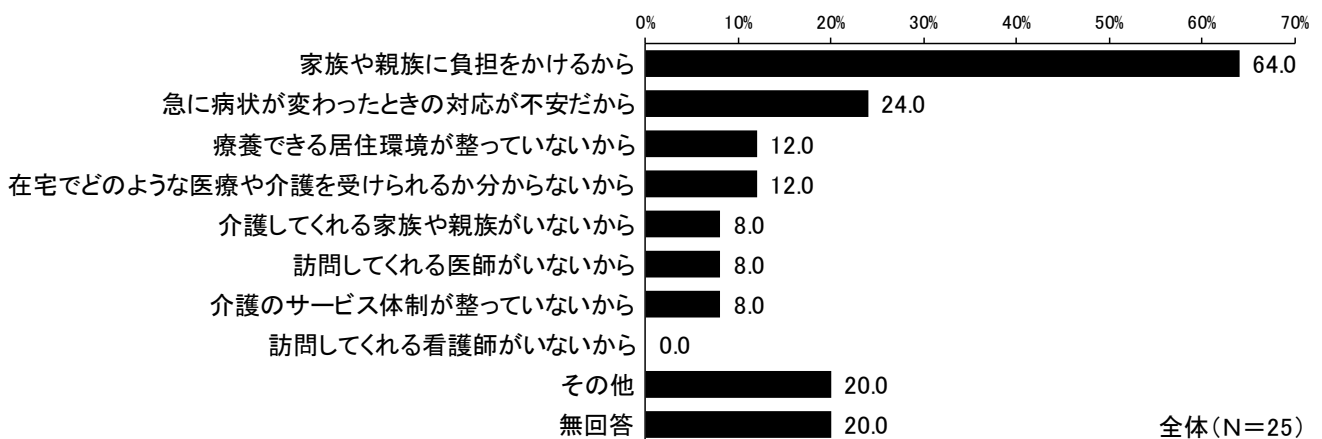
在宅での療養を希望する人（問 25 で「自宅」「子ども、親族の家」と回答した人）の実現可能性は、「可能だと思う」が 54.0%、「難しいと思う」が 12.1%、「分からない」が 21.8%となっている。



③在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う理由（問 25 付問 2・複数回答（3つまで））

在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う人（問 25 で「高齢者向けのケア付き住宅」「特別養護老人ホームなどの福祉施設」「病院などの医療施設」「その他」と回答した人及び問 25 付問 1 で「難しいと思う」と回答した人）の理由は、「家族や親族に負担をかけるから」（64.0%）が最も多く、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」（24.0%）、「療養できる居住環境が整っていないから」及び「在宅でどのような医療や介護を受けられるか分からないから」（ともに 12.0%）と続いている。

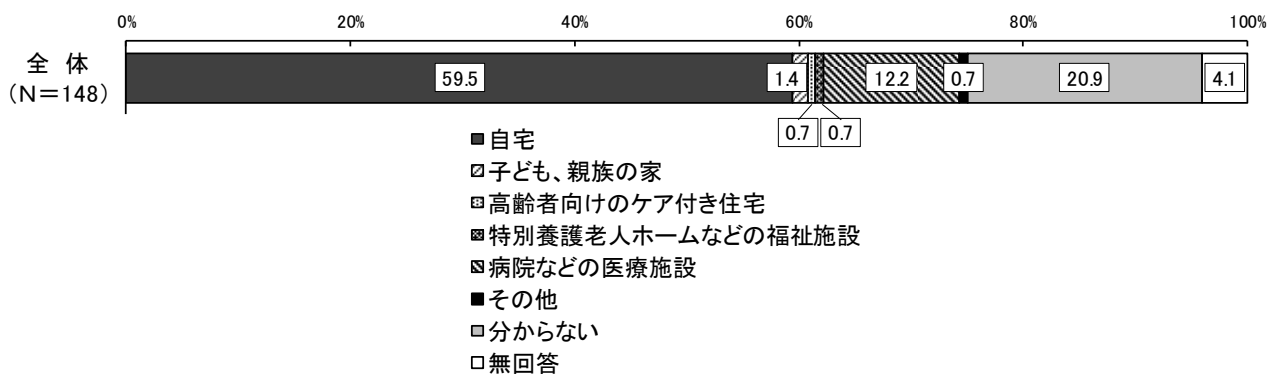
在宅での療養を希望しない又は希望するが難しいと思う理由（問 25 付問 2・複数回答（3つまで））



④人生の最期を迎えたい場所（問 26・単一回答）

人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」（59.5%）が最も多く、「分からない」（20.9%）、「病院などの医療施設」（12.2%）、「子ども、親族の家」（1.4%）と続いている。

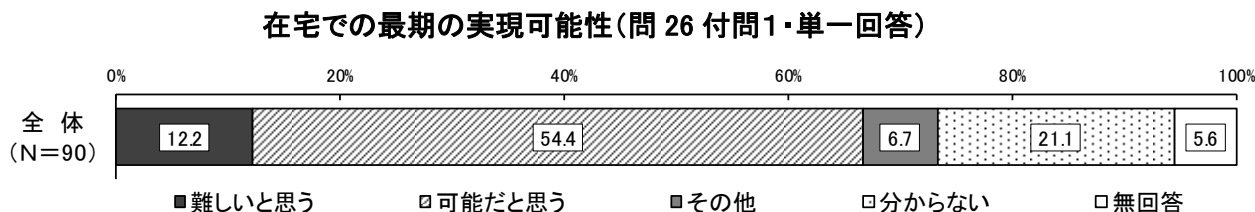
人生の最期を迎えたい場所（問 26・単一回答）





⑤在宅での最期の実現可能性（問 26 付問 1・単一回答）

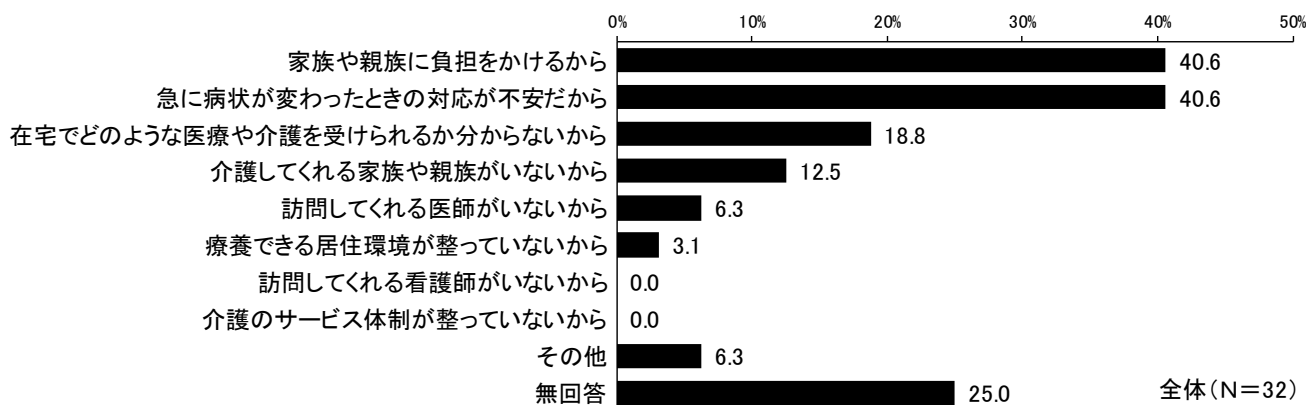
在宅での最期を希望する人（問 26 で「自宅」「子ども、親族の家」と回答した人）の実現可能性は、「可能だと思う」が 54.4%、「難しいと思う」が 12.2%、「分からない」が 21.1%となっている。



⑥在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う理由（問 26 付問 2・複数回答（3つまで））

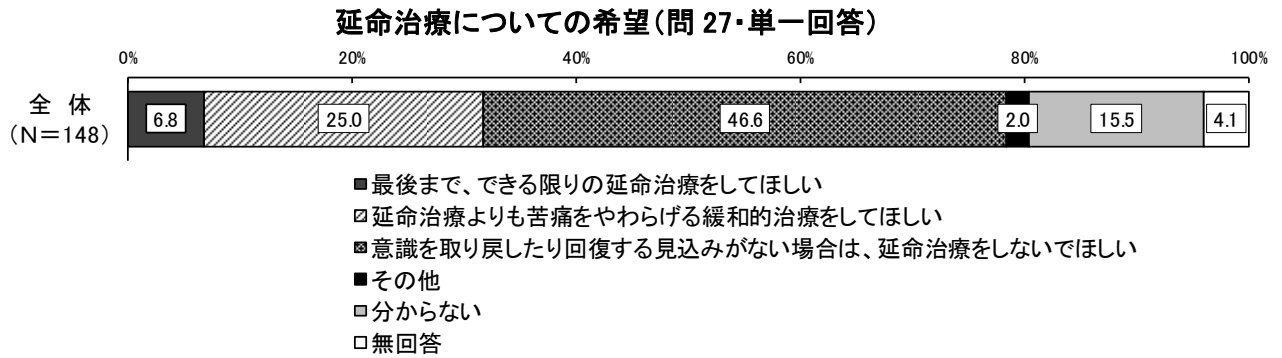
在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う人（問 26 で「高齢者向けのケア付き住宅」「特別養護老人ホームなどの福祉施設」「病院などの医療施設」「その他」と回答した人及び問 26 付問 1 で「難しいと思う」と回答した人）の理由は、「家族や親族に負担をかけるから」及び「急に病状が変わったときの対応が不安だから」（ともに 40.6%）が最も多く、「在宅でどのような医療や介護を受けられるか分からないから」（18.8%）、「介護してくれる家族や親族がいないから」（12.5%）と続いている。

**在宅での最期を希望しない又は希望するが難しいと思う理由(問 26 付問2・複数回答(3つまで))**



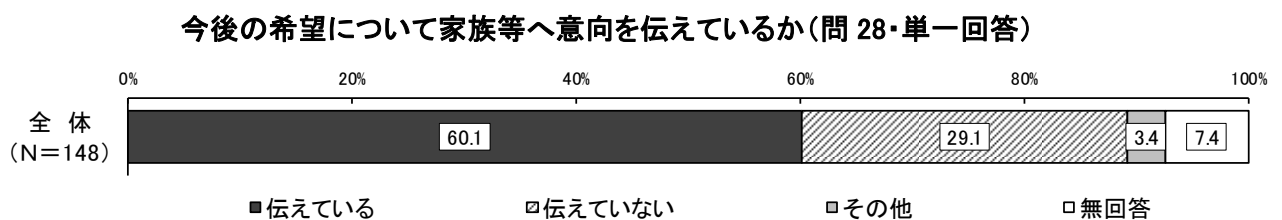
⑦延命治療についての希望（問27・単一回答）

延命治療についての希望は、「意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療をしないでほしい」（46.6%）が最も多く、「延命治療よりも苦痛をやわらげる緩和的治療をしてほしい」（25.0%）、「分からない」（15.5%）と続いている。



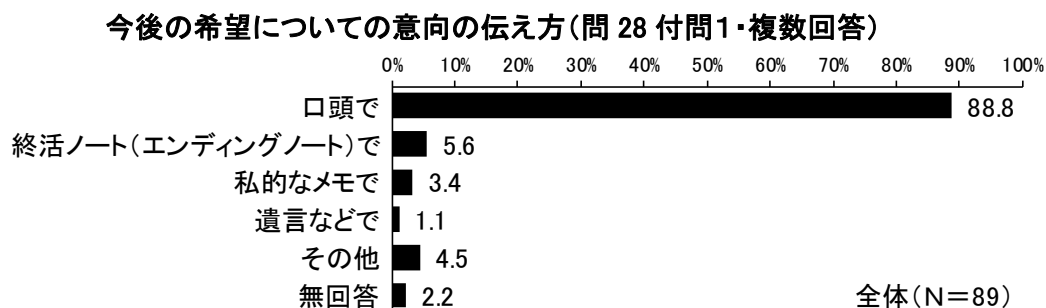
⑧今後の希望（長期療養時や最期の居場所、延命治療の可否など）について家族等へ意向を伝えているか（問28・単一回答）

今後の希望（長期療養時や最期の居場所、延命治療の可否など）について家族等へ意向を伝えているかについては、「伝えている」が60.1%、「伝えていない」が29.1%となっている。



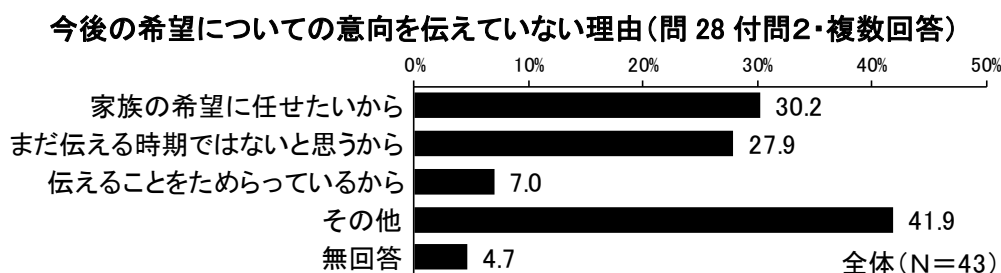
⑨今後の希望についての意向の伝え方（問 28 付問 1・複数回答）

今後の希望についての意向を伝えている人（問 28 で「伝えている」と回答した人）の伝え方は、「口頭で」（88.8%）が最も多く、「終活ノート（エンディングノート）で」（5.6%）、「私的なメモで」（3.4%）と続いている。



⑩今後の希望についての意向を伝えていない理由（問 28 付問 2・複数回答）

今後の希望についての意向を伝えていない人（問 28 で「伝えていない」と回答した人）の理由は、「家族の希望に任せたいから」（30.2%）が最も多く、「まだ伝える時期ではないと思うから」（27.9%）、「伝えることをためらっているから」（7.0%）と続いている。

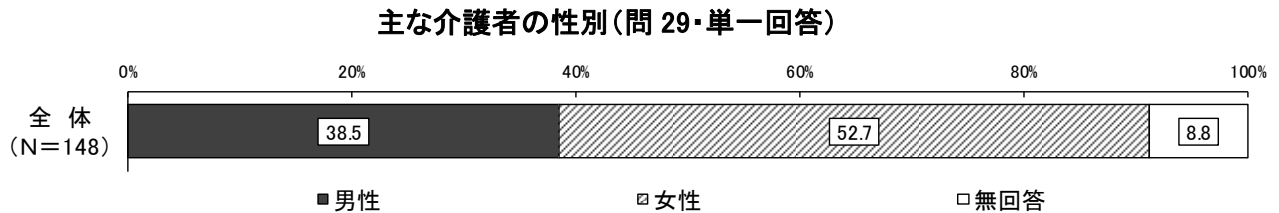


[その他の記述] 本人の意思が確認できない（認知症や失語症のため）、など

## (5) 介護者の状況

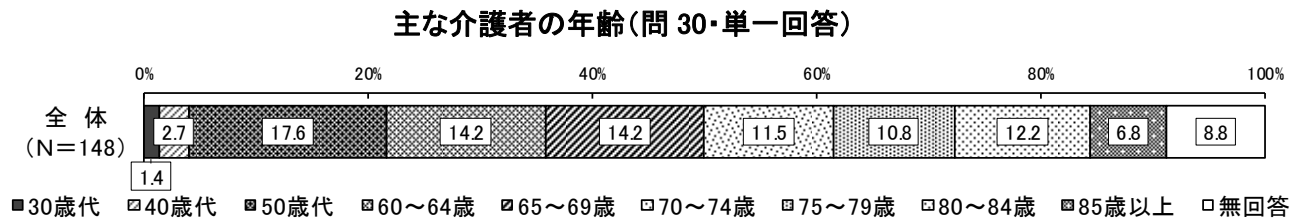
### ① 主な介護者の性別 (問 29・単一回答)

主な介護者の性別は、「男性」が 38.5%、「女性」が 52.7%となっている。



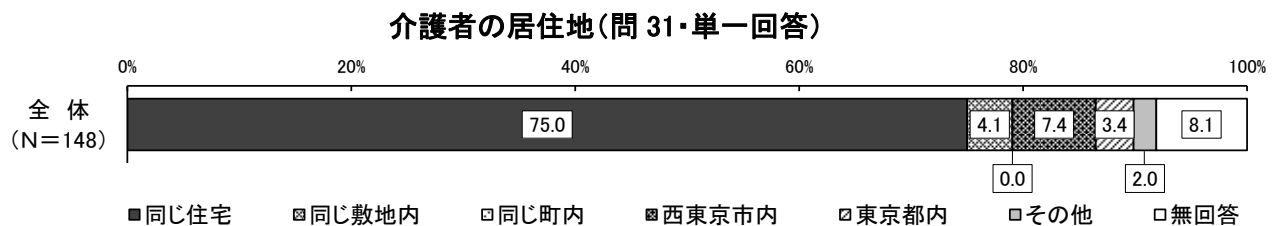
### ② 主な介護者の年齢 (問 30・単一回答)

主な介護者の年齢は、「50歳代」(17.6%)が最も多く、「60～64歳」及び「65～69歳」(ともに 14.2%)、「80～84歳」(12.2%)と続いている。



### ③ 主な介護者の居住地 (問 31・単一回答)

主な介護者の居住地は、「同じ住宅」(75.0%)が最も多く、「西東京市内」(7.4%)、「同じ敷地内」(4.1%)、「東京都内」(3.4%)と続いている。

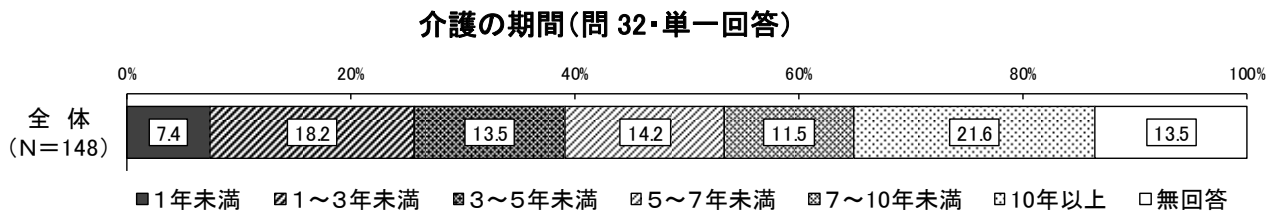


## 第2章 各調査の結果

### 8 在宅医療と介護に関する調査

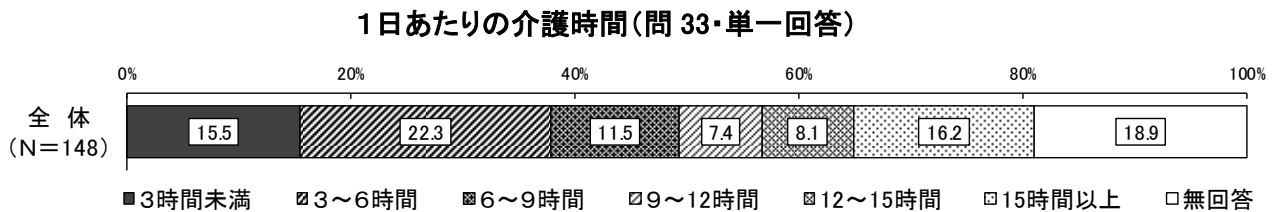
#### ④介護の期間（問 32・単一回答）

介護の期間は、「10年以上」（21.6%）が最も多く、「1～3年未満」（18.2%）、「5～7年未満」（14.2%）、「3～5年未満」（13.5%）と続いている。



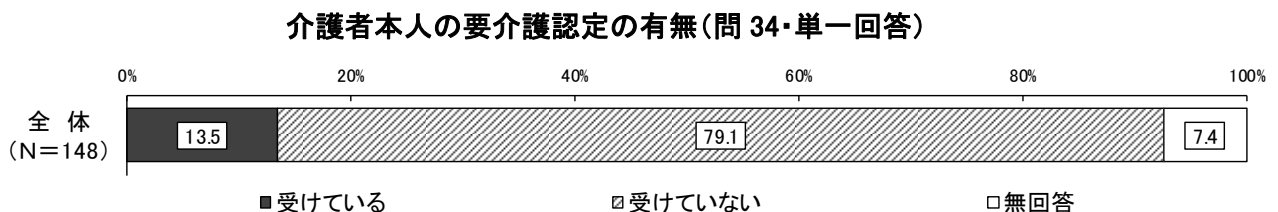
#### ⑤1日あたりの介護時間（問 33・単一回答）

1日あたりの介護時間は、「3～6時間」（22.3%）が最も多く、「15時間以上」（16.2%）、「3時間未満」（15.5%）、「6～9時間」（11.5%）と続いている。



#### ⑥介護者本人の要介護認定の有無（問 34・単一回答）

介護者本人の要介護認定の有無は、「受けている」が 13.5%、「受けていない」が 79.1%となっている。

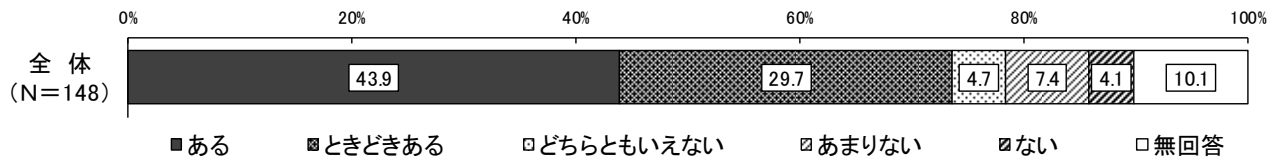


⑦介護の負担感（問 35・単一回答）

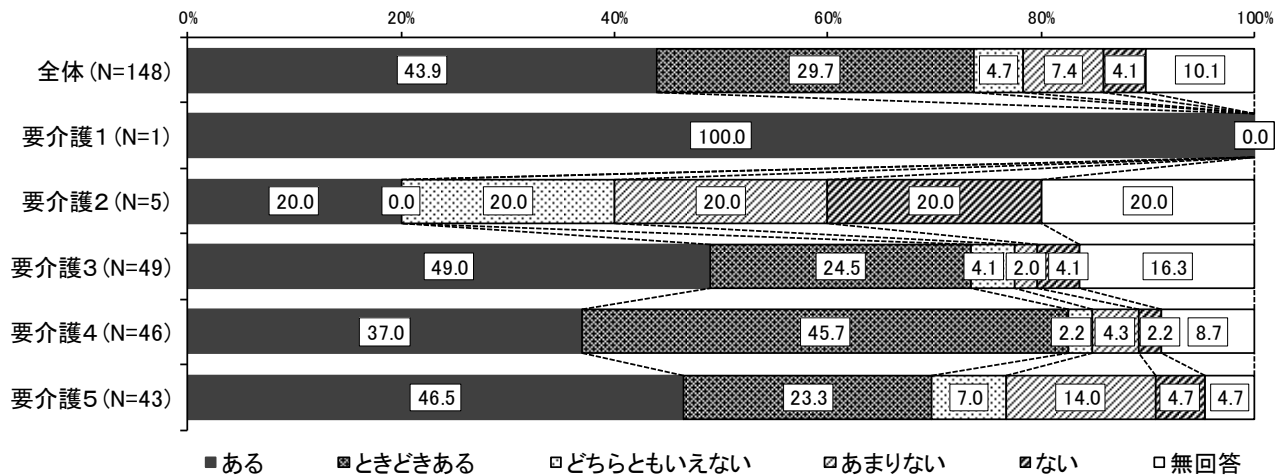
介護に感じる負担感は、「ある」（43.9%）と「ときどきある」（29.7%）を合計した『負担感はある』が73.6%、「あまりない」（7.4%）と「ない」（4.1%）を合計した『負担感はない』が11.5%、「どちらともいえない」が4.7%となっている。

介護度別では、要介護4で「ある」と「ときどきある」を合計した『負担感はある』が82.7%とやや多いものの、要介護5では同合計は69.8%に留まる一方で「あまりない」と「ない」を合計した『負担感はない』が18.7%となっている。

介護の負担感(問 35・単一回答)

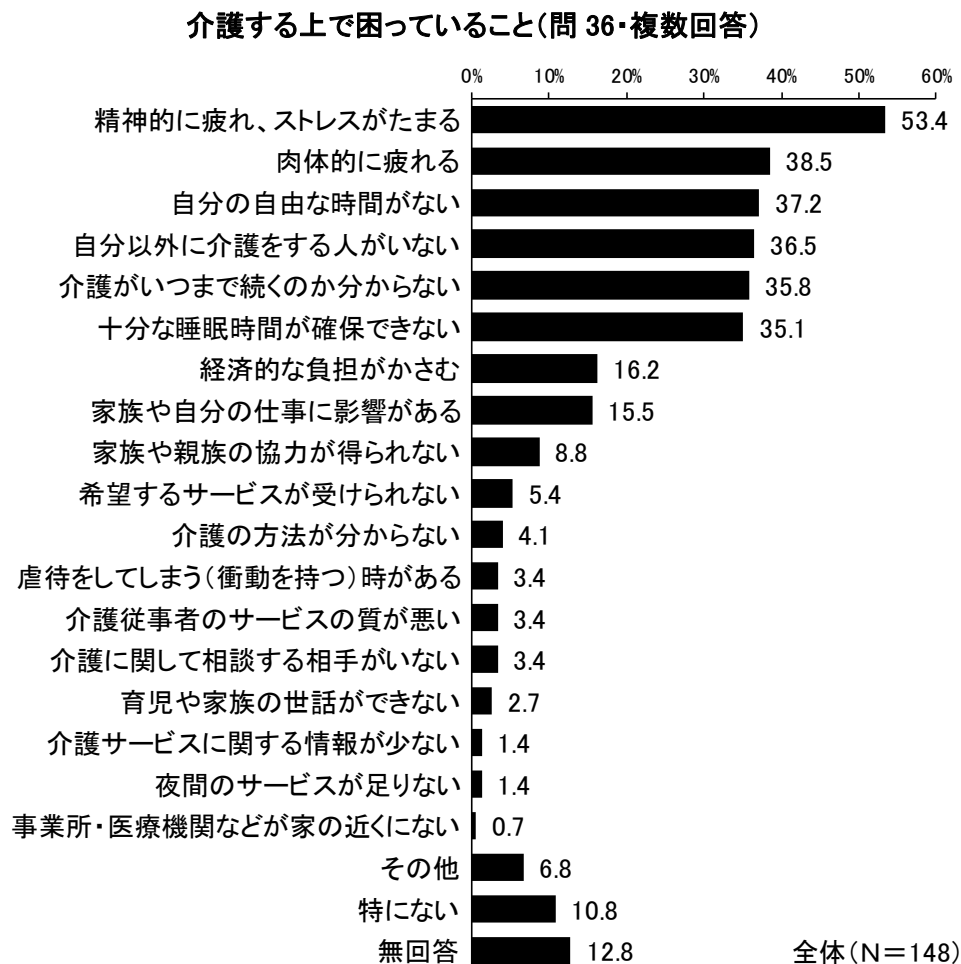


【介護度別】介護の負担感(問 35・単一回答)



⑧介護する上で困っていること（問 36・複数回答）

介護する上で困っていることは、「精神的に疲れ、ストレスがたまる」（53.4%）が最も多く、「肉体的に疲れる」（38.5%）、「自分の自由な時間がない」（37.2%）と続いている。



〔その他の記述〕自分が何かあったときのことが心配、留守番がないため2時間以上家を空けられない、求職活動がしづらい、など

### ⑨医療や介護サービスについての意見・要望（問37・自由記入）

医療や介護サービスについて、自由記入により意見・要望を伺った。主な内容は以下のとおりである。

#### □制度やサービスについて

- ・終末期がんとはいえ、まだ化学療法を受けている。日常生活は可能でも、多くの場合、急速に悪化すると聞いている。一人暮らしの場合でも安心できる環境作りを希望する。
- ・現在は妻と二人で介護しているが、認知症がさらに進んだ場合、どちらかが体調を悪くし、介護ができなくなったときに、受け入れてくれる施設がすぐ見つからないことが不安。

#### □介護職員、人材について

- ・介護サービスを見学し、非常に問題があると思った。設備の不十分な所もあるが、介護者1人で十数人を見ている状況で十分な介護ができるのか、どのような管理をしたら介護される人に安心してもらえるのか疑問に思う。金をあまり掛けずに介護者の管理ができるシステムを工夫することが望ましい。
- ・ケアマネジャー、ヘルパー、デイサービスの職員、それぞれ一生懸命の方々だが、介護される本人と同等に支える家族の気持ちをも汲める様な態度をもった人を望みたい。それぞれの教育機関や職場、地域での“人育て”が大切と考える。

#### □経済的負担について

- ・介護費用の負担を軽減してほしい。
- ・毎日の朝、昼、夕食時に訪問介護を受けている。介護費用は、公的負担のほか自費負担もあり、医療費などを含めると高額になってしまう。自費負担割合がもう少し低いと助かる。

#### □介護者支援について

- ・介護者同士で悩みを話し合ったり、介護の方法を教え合ったりする場がほしい。

#### □情報提供、手続きについて

- ・介護のためのサービスや助成金などが分かりにくく、書類も多くて申請にかかる手続きがとて大変なので、もう少し簡素化してほしい。
- ・介護利用で保険対象外の自費になる場合、理由を納得できるように説明してほしい。